

民報 ゆうばり 北炭新鉱大災害から40年

「人命より採算重視」=コロナ禍でも同じ

大なるにより「いのちのち」 大切に する 社会へ!



北炭夕張新鉱事故と =夕張財政破綻=

北炭夕張新鉱は、国内最新鋭の炭鉱、埋蔵炭量は稼働期間50年以上ともいわれていましたが、1981年10月16日に坑内でガス突出事故が発生。火災も起き、93人が犠牲に。同炭鉱は翌82年に閉山。夕張の石炭産業に決定的な打撃を与えました。

この事故により同年12月に会社は倒産、翌年10月には閉山。この時、全員解雇されたのは直轄坑内員、一般職員あわせて2,093人、下請け坑員381人。閉山後も再開発の道を探ってきたものの、1983年7月には国も正式に再開発を断念しています。

この北炭夕張新鉱の倒産により、市は「閉山処理」として580億円を投じ、炭鉱会社から住宅、病院、水道、道路などを買い取り、これを「坑内員の退職金支払いに充てる」こととさせました。580億円のうち332億円は地方債(市の借金)~財政再生計画で夕張市が解消すべき赤字額は322億円です。



10月15・16日の2日間、北炭夕張新鉱ガス突出事故の発生から40年となるのを前に、市内の市民団体「夕張地域史研究資料調査室」などの主催するシンポジウムが開催され、初日は写真家が事故当時の写真を基に講演、全道から集まった参加者50人が慰霊碑などを見学しました。

「ガス警報機が鳴っても作業を続けさせられている」と告発があり、北炭に保安対策を申し入れたところ逆に抗議された記録が残っています。しかし現実には、心配していたそのガス突出事故により、93人もの方が死亡・行方不明となりました。再度の抗議に北炭はようやく陳謝したのですが、本当に謝るべき(相手)は労働者とその家族です。

40年後の今も、大企業を中心に同じことが繰り返され、コロナ禍の現在では医療現場・家庭でも同じことが起きていませんか。さあ、選挙に行きましょう!

…(ヘルメット姿の大きな遺影は)北炭新鉱の事故で亡くなった「共産党夕張市議・田口睦夫」さんです。事故の3ヶ月前に坑内に入り、炭鉱労働者とも懇談していた日本共産党議員団。「ガス警報機が鳴っても作業を続けさせられている」と告発があり、北炭に保安対策を申し入れたところ逆に抗議された記録が残っています。しかし現実には、心配していたそのガス突出事故により、93人もの方が死亡・行方不明となりました。再度の抗議に北炭はようやく陳謝したのですが、本当に謝るべき(相手)は労働者とその家族です。

は、当時の党夕張市議だった田口睦夫さんも含まれていました。いつも現場の声を代弁し、保安対策や労働条件の改善の先頭に立ってきた方でした。こういう歴史を経て、今の私達の活動の到達点があります。結局、労働者・国民を守らずに利益ばかりを追い求めれば、多大な被害を及ぼすことは歴史が証明してきたわけです。(K・H)

シューパロダム紅葉まつり 開催 インフォメーションセンターで

10月17日(日)南
部地区にあるシュー
パロダム・インフォ
メーションセンター
で、「シューパロダム
紅葉まつり」が開催
されました。

このイベントは夕
張観光協会が主催で、
恒例の行事になって
います。この日は野
外にステージが作ら
れていましたが、み
ぞれ交じりの雨のた
め、会場をセンター
内の2階に移動して
開催されました。

午前と午後、プロ
グラムが組まれ、休
憩の合間には特設野
菜売り場や軽食が販
売されました。

ステージは、ギタ
ー・ボーカルバンド
のきよふみ、皆川祐
爾、MASAKO、
斉藤かんじ、板谷み
きょうといった方々
で演奏・発表されま
した。皆さんは夕張
に愛着を抱き、夕張
のうた「夕張へ帰ろ
うよ」はるかなるシ

10月17日(日)南
部地区にあるシュー
パロダム・インフォ
メーションセンター
で、「シューパロダム
紅葉まつり」が開催
されました。



(投稿記事)

バス待合所の椅子

設置要請 実る

清陵町内会 班長 新井良平

清水沢清陵町にある夕鉄バス停留所にあった椅子が、老朽化とかで撤去されたままになっていました。このほど椅子2脚が置かれました。バス利用者の中では、待合室にあった椅子のお陰で、何ほど安心感があった事か。どうして付けてくれないのか不安の声が出ていました。私は地域の住民として、夕鉄と市の地域振興の方に、要請を繰り返しました。

数日後、二脚の椅子が待合室に置かれておりました。利用者の方は、有り難いことだと、喜んでおりました。今高齢者は何かにつけ、不安を抱え体力気力が衰え、ともすれば、生きる希望を失いかけています。椅子がなくても、二分や三分の時間が待てないのかと、揶揄して、あしう人もいたとか。何とも情けない仕打ちです。

どんなことでも、声をあげたことで要請が実ったと思っています。夕鉄バスも唯一の交通機関です。市の地域振興課についても、私も地域住民の安心に、一層の力と心を注いでくれることを願います。

2021年10月5日



清陵町夕鉄バス待合室の2個の椅子



岩瀨 友「国会かけある記」
参議院議員
岩瀨 友

政権交代で願い実現へ

総選挙、2日目から北海道入り。みなさんの声をお聞きしました。

はたやま和也さんとまわった函館の朝市では、「緊急事態宣言が解除されても、お客さんは戻ってこない。家賃が払えなくてやめていく人もいる。支援が必要」「このままでは、2年後、3年後に商売が続いていられるかどうか」などの声が寄せられ、持続化給付金・家賃支援給付金の再支給、消費税の減税をと話しながらのあいさつになりました。

北海道生活と健康を守る会のみなさんからは、「生活保護費を増やしてほしい」「75歳以上の医療費負担を増やさないでほしい」「子どもの医療費無料化を国が進めてほしい」などの要望が。改めて、いのちとくらしを守る選挙だと感じています。

札幌中央地区委員会内で、奮闘するみなさんのところにもうかがいました。地域で、黨員や後援会のみなさんが電話をかけたたり、チラシを折ったり、活動する姿に触れて、あらゆる力を合わせて勝つ選挙だと力をいただきました。

「自公政権」対「野党共闘」が最大の争点です。どこでも政権交代で政治を変えてほしいという期待が寄せられます。みなさんから寄せていただいた願いは自公政権では実現できません。政権交代すればすぐにでも実現できる、議論を進めることができます。

政権交代を進め、共通政策を実現するためにも日本共産党を大きく。はたやま和也さんを今度こそ国会へ。最後までがんばりぬきます。